



2010. 3. 10 発行



## 教科書展をふりかえって

- 図書館からのインフォメーション
  - 利用期限が2010年3月31日までのみなさんへ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  - 図書館利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 特集記事「教科書展をふりかえって」
  - 『歴史のなかの教科書～政治の動きと社会科～』開催報告・・・・・・・・・・ 6
  - 『歴史の審判を恐れよ～社会科教科書展示の意図～』・・・・・・・・・・本郷 隆盛 7
  - 保健体育の教科書展を開催中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
  - 過去の教科書展をふりかえって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 学生の読書室～私が選ぶこの一冊～（第12回）・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 表紙解説
  - 長寿の秘訣は“隠れ蓑”～テングチョウ～・・・・・・・・・・・・・・・・・・溝田 浩二 15
- 平成22年度開館カレンダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16



## 図書館からのインフォメーション



# 利用期限が2010年3月31日までの皆さん

(研究生の一部、専攻科生、学部4年生、大学院2年生)へ

利用期限が2010年3月31日の皆さん(研究生の一部、専攻科生、学部4年生、大学院2年生)は、貸し出し資料の返却期限が3月15日になります。必ず期限内にご返却ください。

\* 3月15日以降の貸出も可能です。詳しくはカウンターでお尋ねください。\*

### ♪ ご卒業おめでとうございます ♪

卒業される皆さんに図書館からのお願いです。

お手元に図書館の資料はありませんでしょうか?また、図書館からの督促状などは届いておりませんか?今一度ご確認ください。

図書館から借りた資料は必ず在学中にご返却下さい。なお、学部4年生・大学院2年生で3月15日以降も資料を延滞されている方には、通常の方法以外での督促も考えております。



## 図書館利用案内

4月からは、新入生など、宮教大に初めて来られる方が大勢いらっしゃると思います。時間があるけれどどこで過ごして良いかわからない、そんな時には、ぜひ、図書館にいらしてください!そこで、今回は改めて図書館の利用方法についてご案内いたします。

また、図書館では、館員の説明による図書館ツアーや新入生ガイダンスなどの講習会も企画いたします。ぜひ、ご参加ください。詳細は掲示やHPなどでお知らせいたします。

### 開館時間と休館日

- 通常の開館時間は 月曜日～金曜日 9:00～22:00 土曜日・日曜日 10:00～17:00です。
- 学校休業期間中の開館時間は 月曜日～金曜日 9:00～17:00 です。
- 休館日は 国民の祝日・本学創立記念日(10月18日)・年末年始・本学学位記授与式当日・大学入試センター試験日 です。

\*なお、臨時に休館する場合は掲示やホームページ等でお知らせします。

### 利用について

<本学の学生・教職員> 学生証・職員証が図書館の利用カードになっていますので、学生証・職員証をお持ちの方はすぐに利用できます。学生証・職員証のない方は、担当部局で発行を受けるか、「図書館利用申込書」に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。「図書館利用証」を発行いたします。

## 図書館からのインフォメーション



## 資料の閲覧・貸出

- 館内閲覧 館内での閲覧は自由です。ただし、閉架書庫利用の際は、1階カウンターに申し出て下さい。
- 貸出 表紙にバーコードラベルが貼ってある資料はカウンター脇に設置してある「図書自動貸出装置」で借りることができます。こちらを利用すると、カウンターでの手続きが不要になります。または、貸し出しを希望する資料に学生証(図書館利用証)を添えて1階カウンターへ。
- 貸出冊数・期間

利用者別	冊数	期間
教職員(非常勤講師を含む)、	20冊まで	1ヶ月
名誉教授、大学院生、学部4年生 特別支援教育特別専攻科生	10冊まで	1ヶ月
学部1年生～3年生、研究生、 科目等履修生、特別聴講学生、 学外の方	5冊まで	2週間

\*学内の方は未製本雑誌の貸出も可能です。(最新号は除きます。)貸出期間は3日です。

## 資料の返却・罰則・紛失

- 返却 返却する図書をカウンターにお持ち下さい。閉館時は図書館正面入口のブックポストに入れて下さい。  
※返却が遅れると罰則がつく場合がありますので、ご注意ください。
- 罰則 !返却期限日から1週間を過ぎて返却すると返却が遅れた日数(返却期限日から実際に返却した日までの日数)が貸出停止期間(罰則)となります。最長1ヶ月までです。
- 紛失等  
・貸出資料を紛失あるいは甚だしく損傷した場合は、同一資料で弁償して頂きます。

## 貸出できない資料

\* 次の資料は原則として貸出できません。

- ① 貴重資料
- ② 参考図書(辞典、事典、年鑑、白書、ハンドブックなど)
- ③ 視聴覚資料(CD、DVD、LD、ビデオなど)
- ④ 新着雑誌
- ⑤ 教科書・指導書(小学校・中学校・高校で現在使用されているもの)
- ⑥ 修士論文・点字図書などの特殊資料

## 貸出期間の延長・予約・リクエスト

- 貸出期間の延長 貸出中の資料を引続き利用したい場合は、予約者がいない場合に限り貸出期間の延長ができます。当該資料をご持参のうえ、「図書自動貸出装置」または、カウンターで手続きをして下さい。
- 予約 利用したい資料が貸出中の場合は、貸出予約ができます。予約した資料が返却され次第、メール等でお知らせします。

※貸出予約はWeb上の図書館サービス「マイラブラリ」からも行えます。

\*マイラブラリが利用できるのは学内の方だけです。



## 図書館からのインフォメーション

- リクエスト 本学の学生や院生の方は、利用したい資料が学内にない場合に、購入の希望を出すこともできます。詳細はカウンターにお尋ねください。  
※担当者が選定の上、購入を決定いたします。

### 資料の探し方

- 本学にある図書や雑誌の検索  
蔵書検索（OPAC）・・・本学で所蔵している図書や雑誌、AV資料をWeb上で検索することができます。本学のどこにあるのか、現在、貸出中かどうかを確認できます。図書館のホームページやWeb上の図書館サービス「マイブラリ」から利用できます。  
館内には蔵書検索（OPAC）専用端末を1F閲覧室に3台、2F閲覧室に2台設置しています。
- その他の資料の検索
  - ◎他機関の図書や雑誌を探す→◆NACSISWebcatや◆NDL-OPAC等が利用できます。
  - ◎雑誌論文・雑誌記事を探す→◆雑誌記事索引や◆CiNii（サイニイ）が利用できます。
  - ◎新聞記事を探す→◇朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」や◇河北新報データベース「KD」等が利用できます。
  - ◎電子版の辞書・事典類を調べる場合→◇ジャパンナレッジや◇理科年表プレミアムが利用できます。

※すべて図書館ホームページから利用できます。

◆印のデータベースは無料公開されており、学外から利用が可能です。

◇印のデータベースは本学で契約しており、学内のパソコンからの利用となります。また、利用できるのは本学構成員のみです。

このほかにも便利なデータベースがありますので、図書館ホームページ

URL : <http://www.lib.miyakyo-u.ac.jp/library/home.html> を活用してください。

- 講習会  
図書館では春と秋にデータベースの使い方など資料の探し方に関する定例講習会を行っています。  
また、ご希望に応じた内容の講習会を開くこともできます。カウンターでお気軽にご相談ください。

### マイブラリ

\*マイブラリが利用できるのは学内の方だけです。

- マイブラリ とは？  
Web上の図書館サービスです。自分が図書館から借りている資料の確認や貸出中の資料の予約、本学にない資料の取り寄せ（文献複写・現物貸借）の申込みがWeb上で行えます。学内からだけではなく、インターネットの使える環境であれば、いつでもどこでも利用が可能です。
- サービス内容
  - ・借用中の資料のタイトルや返却期限の確認ができます。
  - ・貸出中の資料の予約ができます。
  - ・条件を指定して登録しておく、該当の新着資料が入った時に通知を受けることもできます。
  - ・文献複写や現物貸借の申し込みができます。
  - ・検索結果のブックマーク機能を使って、検索結果のメール送信、ファイル出力、フォルダへの保存などできます。
- 利用方法  
図書館のホームページまたはOPACからアクセスしてください。利用の際にはIDとパスワードが必要です。ID・パスワードは情報処理センターの端末を利用する際のもので、図書館のホームページにも詳しい利用方法を掲載しています。



### 施設・設備

- コピー機  
セルフサービスのコイン式複写機を1階に2台、2階に1台設置しています。利用者が調査研究を目的として私的に利用する場合に限り、資料の一部を複写することができます。掲示してある使用上の注意事項を熟読の上、所定の申込用紙に必要事項を記入して、利用してください。
- 無線LAN  
閲覧席では無線LANが利用できます。ノートパソコンを持ち込んで利用することができます。利用にはID・パスワード（情報処理センターの端末を利用する際のもの）が必要です。
- 学内LAN端末  
2階のマルチメディア室に24台の学内LAN端末を設置しています。情報検索、インターネット、WordやExcel等が利用できます。利用にはID・パスワード（情報処理センターの端末を利用する際のもの）が必要です。
- ロッカー  
利用は当日限りです。必ず施錠して下さい。貴重品は入れないで下さい。
- 展示コーナー  
研究作品の展示に利用できます。利用の一週間前までにカウンターで申し込みをして下さい。
- リフレッシュコーナー  
ソファ・テーブル、カップ式の自販機があり、飲食が可能です。  
※閲覧室への持ち込みはご遠慮ください。
- 多目的閲覧室  
自習室として開放しています。閲覧室としての利用の他、事前予約により、研修やゼミなどで利用することもできます。利用の一週間前までにカウンターで申し込みをして下さい。  
※事前予約により利用している時は他の方が利用できないことがあります。
- 視聴覚ブース（8台）  
DVD、CD、ビデオなどの視聴ができます。利用の際の申込みは不要です。
- ブックポスト  
正面玄関右に設置してあります。図書館が閉館している際の資料返却に利用して下さい。

### 特色のある資料

- 和漢書  
本学の蔵書の中には和漢書古典約4千点1万冊があり、その中には仙台藩最初の公共図書館として有名な青柳館文庫の蔵書も含まれています。
- 教科書  
教科書については明治から現在使用されているものまで継続して収集しています。
- 児童図書  
大学図書館としてはユニークな蔵書である児童図書（児童文学・絵本・紙芝居など）を約1万冊所蔵しています。

特集記事 「教科書展をふりかえって」

平成21年度附属図書館特別展示企画

『歴史のなかの教科書～政治の動きと社会科～』

開催報告

附属図書館では、平成17年度より、毎年夏に特別展示企画として、大規模な教科書展示を行っています。平成21年度は『歴史のなかの教科書～政治の動きと社会科』と題し、社会科の教科書展示が行われました。

期 間：平成21年7月28日(火)～8月6日(木)の10日間

場 所：附属図書館1階多目的閲覧室

展示の企画・監修：本郷先生、井柳先生、堀田先生、吉田先生（以上 社会科教育講座）  
笠間先生（学校教育講座）

展 示 冊 数：約560点

来 場 者 数：970名



開催式の様子



展示を見学する高校生



展示教科書の一例



壁には年表や図版も展示

今回の特別展示企画にかかわった社会科教育講座 本郷先生より、展示に関してご寄稿をいただきました。

## 『歴史の審判を畏れよ』

——社会科教科書展示の意図——

社会科教育講座 本郷 隆盛

戦後の日本国憲法は、形式的には戦前の大日本帝国憲法の改正として成立したが、周知のようにその内実は全く異なるものであり、あれほど猛威を振るった教育勅語も、1948年6月19日、衆・参両院で、その効力が否定された。戦前期、教職にあつて、「帝国憲法」や「教育勅語」の「生の枠組み」を自ら体現し、子供達の教育にあたっていた教師達はその「歴史的な転換」をどの様に受け止めたのであろうか。事実、45年10月にGHQから出された「教員及教育関係者ノ調査、除外、認可ニ関スル件」にもとづく適格審査が行われ、5千余名が解職され、審査発令以前に11万5千余名が辞職した。戦前の修身教科書には、いずれも歴代天皇の一覧表が巻末に載っており、古事記・日本書紀の神話があたかも事実でもあるかのように教えられたが、戦後の教科書では、歴代天皇の一覧表も記紀神話もすべて消されたのである。いまは現天皇が何代目の天皇であるかは勿論のこと、その名前すら多くの学生達は知らない。同じ日本社会でありながら、戦前と戦後では、教育の中身が全く異なるのである。それは何故であろうか？

教育は如何なる場合にも、それぞれの時代と社会の「政治的な所産」なのである。戦後日本の教科書だけを見ているとその点はわかりにくいのだが、現在使用されている韓国の小学校の歴史教科書は、著しく民族主義的であり、中国の場合は愛国主義そのものである。それに加えて、感情表現が多用されており、また「私たちは、蛮行を犯した日本とどう向かい合うか討論してみよう。」など、過去の事柄に対して現在形で語られているのである。

私はこの10年来、いろいろな授業の機会に韓国や中国の歴史教科書を取り上げ、「強制的に」学生達に読ませてきた。学生達の多くは、両国の教科書を読み、その構成、言葉遣い、教師の問いかけ方など、これまでに自分が学んできた教科書とのあまりの違いに一樣に大きな衝撃を受ける。いままでに見たことのない教科書がそこにはあるからである。

私が韓国や中国の歴史教科書を取り上げるのは、単に近代日本の植民地になった韓国や日本の侵略によって大きな被害を受けた中国が当時のことをどのように記述しているのかを知るためだけでなく、これから教師になる学生たちが、「教科書とは何か」「教育とは何か」をきちんと考える目を持ってほしいという期待があるからである。

今回、附属図書館で「社会科の教科書展示」をやることになり、私が責任者として意図したことは、教育が否応なくそれぞれの政治社会の在り方と密接に関わっていること、また、それぞれの時代における歴史認識の方法に規定されていること、さらには「歴史の事実」と、「歴史叙述」の間には大きな距離があり、さまざまな歴史像が可能であることを教えるためである。換言すれば、教師は与えられた教科書を自明の前提として教育に臨む

のではなく、自分が教えようとする教科書が、「何故そのような教科書なのか」を考えられるような教師になって欲しいと考えるからである。

それ故に教科書展示にあたっては、明治以降の教科書それ自体の展示にとどまらず、教科書の在り方を規定している、それぞれの時代と社会の在り方を背景として見えるようにする工夫をすることであった。「軍人勅諭」や「帝国憲法」の条文、「教育勅語」を展示したのもそのためである。

それに加えて「番外編」として、現在使用されている中国や韓国の小学校歴史教科書を展示し、併せて数年前に教科書としての採択を繞って社会的に激しい対立があった『新しい歴史教科書』（扶桑社版）や、1974年に検定不合格になった家永三郎氏の『検定不合格日本史』（三一書房）や久野収編著『検定不合格倫理・社会』（同上）等をも展示した。

近代の日本が問題なのは、単に1930年代から始まる「戦争体制」だけが問題だったのではない。中国や西洋の歴史や思想を排除し、「国体論」一色になったとき、日本社会は自分の姿が見えなくなってしまったのである。日清・日露戦争以後、「東洋の盟主」などという尊大な国家意識を持ち大陸中国に攻め入っただけではなく、英米蘭仏相手に戦争を始めたとき、その帰結は見えていたはずではないのか。それが見えなくなったときに、既に日本の敗戦は明らかなのである。「相手を視ようとしないうこと」は、同時に「自分自身が見えない」ことである。そしてその兆候は既に、小学校教育で、中国や西洋の歴史を教えることを否定し、国史のみの「忠君愛国」教育に舵を切った明治10年代の「教学聖旨」から始まっていたのである。幕末の日本、幕府が、欧米列強に対峙しつつ、同時に留学生を多数欧米に派遣し、西洋の技術・思想を学ぼうとしたのとは雲泥の差である。何故このようなことになったのかは、いまなお明らかにされるべき歴史研究の課題である。「彼を知る」ことを通して「己を知る」ことができると主張したのは、幕末の思想家佐久間象山である。

国家においても個人においても、後世における「歴史の審判」を意識しつつ生きることが必要である。現代の哲学・倫理学でいえば、「他者の眼差しを恐れよ」と言うことになろう。いまなお、アフガニスタンやイラクで、現実に生きている人々の生活現実をみることなく、「文明の論理」を掲げて戦争をしかけている超大国アメリカの姿は、“野蛮”そのものではないだろうか。人も国家も、他者との共存・共栄によって生きるよりほかはないのが21世紀だとすれば、後世における「他者の審判に戦（おのの）きつつ生きる」事が新しい生き方の戦略だと言うことになろう。

## 保健体育の教科書展を開催中です

現在、附属図書館では、保健体育の教科書展を下記のとおり開催しています。  
ぜひお立ち寄りください。

平成21年度附属図書館常設展

『ワタシタチハ ナゼ カラダヲジョウブニ シナケレバ ナリマセンカ  
～保健・体育教科書の変遷～』

期 間：平成21年12月25日～平成22年3月末日（予定）

場 所：附属図書館2階マルチメディア室前

展示の企画・監修：数見先生、黒川先生（保健体育講座）

展 示 冊 数：約60点

企画の目的：

保健領域や体育理論領域の授業や保健・体育教科書に書かれていた内容を鮮明に記憶している人はあまり多くないであろう。「雨降り保健」「雨降り体育」という言葉があるように、保健や体育理論の授業は、教師による軽視、児童・生徒からの不評を買う領域となってきた。

体育（保健体育）科は、我が国の近代学校の成立とともに教科として設置され、戦前・戦中の「国家主義」「精神主義」の時代を経て、戦後は子どもたちを「からだ育ての主人公」へと育成する教科として学校教育に位置づけられてきた。保健及び体育理論は「主人公」育成にとって不可欠の領域として設定されており、主たる教材として保健・体育教科書が作成されている。

保健・体育教科書の内容は、各時代の国・社会の要請と国民の教育要求との間で揺れ動いてきた。

今回の展示を通じて、保健体育科の歴史の変遷を知るとともに、これからの保健体育科で獲得されるべき学力の中身を考えるきっかけにしたい。

（保健体育教育講座 黒川先生 常設展ポスターより）



展示の様子



展示教科書の一例

## 過去の教科書展を振り返って

教科書は、教育大学にとって大事な財産です。

附属図書館では、各教科の先生にご協力いただき、教科書が持つ時代性、編集方針、特徴などについて分析を加え、多数の教科書を一度に目にすることができる教科書展を特別展示企画や常設展の形で開催してきました。

これら展示は、教科書の新たな価値の発見の場であり、自分の使った教科書との再会を懐かしむ場ともなっています。

それでは、当時のポスターや展示した教科書の写真とともに附属図書館の教科書展の歴史を振り返ってみましょう。

### 1. 国語・修身 (平成17年度特別展示企画)

期 間：平成17年7月27日～8月2日

展 示 数：約300点

来場者数：約1,200名

記念すべき第1回の教科書展です。

教科書制度の変遷とともにかわっていく教科書のようなすが、わかりやすく展示されました。

小学校で最初に習った文章や物語は、大きくなってからも覚えているもの。昔にタイムスリップした気分を多くの方が感じたのもこの「国語・修身」の特徴です。

また、いわゆる「墨塗り教科書」が多くの来場者の目を引きました。

平成17年度 宮城教育大学附属図書館の展示企画  
歴史のなかの教科書  
国語と修身  
開催期間：平成17年7月27日水～8月2日火  
開催時間：午前10時～午後4時  
7月30日、31日の土日も開館します。(入場無料)  
開催場所：宮城教育大学附属図書館 多目的閲覧室  
戦前の小学校の国語及び修身  
戦後の小学校の国語教科書  
江戸期往来物のうち一部を展示します。  
おもしろいよ!!教科書の命と昔



『子供早学問』(江戸後期)



現代の教科書

2. 算数・数学  
(平成18年度特別展示企画)

期 間：平成18年7月26日～8月7日

展 示 数：約480点

来 場 者 数：約904名

記念講演会：

『和算のテキスト

～ベストセラーもあった～』

『教科書・和算・林鶴一

～折り紙をなかだちにして～』

和算書から明治～現在の算術・算数の教科書が展示されました。

算盤・算木を使って来場者自らが計算問題に挑戦できるコーナーでは、多くの人が問題に挑んでいました。

平成18年度 宮城教育大学附属図書館特別展示企画

# 歴史のなかの教科書

## ～算術・算数と数学～

開催期間：**7月26日(水)～8月4日(金)、8月7日(月)**  
(29、30日の土日も開館します)

開催場所：宮城教育大学附属図書館1階 多目的閲覧室

開催時間：午前10時～午後4時

展示内容：附属図書館で所蔵している和算、算数、数学の教科書等資料を展示します。また、数学教育講座の「林鶴一」蔵書の中からも一部展示します。

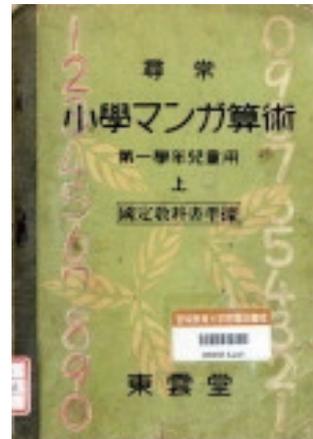
記念講演会：**7月29日(土) 図書館2階** **入場無料**

① 午後1時から…和算のテキスト～ベストセラーもあった～  
講師：土倉 保 (東北大学名誉教授)

② 午後2時から…教科書・和算・林鶴一～折り紙をなかだちにして～  
講師：萬 伸介 (宮城教育大学教授)



『算法新書』  
(文政13年刻成、明治13年三刻)



『尋常小学マンガ算術  
第一学年児童用 上』  
(昭和10年発行)



現代の教科書

3. 理 科  
(平成19年度特別展示企画)

期 間：平成19年7月30日～8月7日  
展 示 数：教科書等約800点  
理科実験教材等  
来 場 者 数：1,134名  
記念講演会：平成19年8月4日  
『教科書の変遷と理科のものづくり』  
『湯川秀樹のめざしたもの』

湯川秀樹、朝永振一郎らノーベル賞受賞者が編集にかかわった教科書などが展示されました。また、顕微鏡など理科で使われた器具も併せて展示されました。

平成19年度 宮城教育大学附属図書館特別展示企画

# 歴史のなかの教科書

## 日本のもものづくりをささえた理科

7月30日(月)～8月7日(火)  
(土日開館)  
午前10時～午後4時30分  
宮城教育大学附属図書館

展示内容：本学で所蔵している明治時代から現在までの「理科の教科書」等を展示します。また、学校で使っていた理科教材（実験器具、標本など）なども展示します。



**記念講演会 8月4日(土) 入場無料**

①午後1時から…教科書の変遷と理科のものづくり  
講師：永田 英治(宮城教育大学教授)  
池山 龍(宮城教育大学教授)  
釜渡 英之(宮城教育大学准教授)

②午後2時40分から…湯川秀樹のめざしたもの  
講師：安江 正治(宮城教育大学教授)

会場：①：宮城教育大学 理科学学生実験棟 理科共用実験室  
②：情報処理センター 情報教育第2演習室  
講演会場へのご案内は図書委員の会場にて行います。

お問い合わせ：宮城教育大学附属図書館  
TEL:022-214-3348



『物理訓蒙』(明治5年～)



『わたくしたちのりか  
1ねん』(昭和27年検定)

4. 音 楽  
(平成18年度常設展)

期間とテーマ：

- 第1期：平成18年4月10日～5月28日  
『大正時代のこどもの歌』
- 第2期：平成18年5月29日～7月2日  
『昭和（戦前）のこどもの歌』
- 第3期：平成18年7月3日～8月31日  
『昭和（戦後）のこどもの歌』

3期にわけて、音楽の教科書や楽譜を振り返りながら、当時の唱歌や童謡について、考察しました。

5. 家 庭 科  
(平成19年度常設展)

- 第1期：平成19年4月9日～5月15日  
『現在の家庭科』
- 第2期：平成19年5月16日～6月末日  
『性によって異なる家庭科履修の時代』
- 第3期：平成19年7月1日～7月末日  
『家庭科ゆりかごの時代』
- 第4期：平成19年8月1日～9月末日  
『戦前の家事・裁縫科』

高校で家庭科が必修となっている現在から、女子だけに家庭科を課していた時代、戦前の家事・裁縫科の時代へとさかのぼって振り返る展示を行いました。

6. 英 語  
(平成19～20年度常設展)

- 第1期：平成20年3月3日～4月30日  
『Jack and Bettyに始まる』
- 第2期：平成20年5月1日～6月30日  
『Jack and Bettyの終わり』

戦後まもなくから20年近くも親しまれた英語の教科書『Jack and Betty』を軸として、英語の教科書を展示しました。

平成18年度宮城教育大学附属図書館 常設展示

## 大正・昭和のこどもの歌

「歌は世につれ、世は歌につれ」という言葉があります。昔の日本の子どもたちはどんな歌をうたっていたのでしょうか？今回の非常設展示では、宮城教育大学附属図書館が所蔵する「大正・昭和のこどもの歌」に関する資料を展示します。図書館2階、開館あがってすぐの第二展示場で展示しています。

第1期 内 容：大正時代のこどもの歌  
展示期日：平成18年4月10日（月）～5月28日（日）

第2期 内 容：昭和（戦前）のこどもの歌  
展示期日：平成18年5月29日（月）～7月2日（日）

第3期 内 容：昭和（戦後）のこどもの歌  
展示期日：平成18年7月3日（月）～8月31日（日）



★ 講演会  
音楽教育関係の小中高生を対象に今回の展示について講演を行います。  
日時：平成18年6月7日（水）14：40～16：10  
場所：図書館1階 多目的図書室

★ 展示資料閲覧タイム  
音楽教育関係の小中高生がこの時期に図書館で展示を行います。  
第1日：平成18年4月24日（月）  
第2日：平成18年6月12日（月）  
第3日：平成18年7月7日（金）  
いずれも 昼休み 12時20分～12時50分  
場所：図書館2階 第二展示場  
宮城教育大学附属図書館 内線2245

平成19年度宮城教育大学附属図書館 常設展示

## 家庭科教科書をさかのぼる

～現在から戦前まで～

写真やグラフィック満載の家庭科教科書ですが、「今の女もさかしたの持いつ？」、「以前からカラー服だったの？」と疑問がわきます。今、家庭科抄小・中学校で毎週決まって教えられる教科書と昔の教科書が、50年ほど前中高生が入学した頃の授業科目でした。是非見たい！家庭科教科書の歩みをもとめてお楽しみください。

展示会場：宮城教育大学附属図書館2階 第二展示場

第1期 内 容：現在の家庭科  
展示期間：平成19年4月5日～5月5日

第2期 内 容：性によって異なる家庭科履修の時代  
展示期間：平成19年5月16日～6月末日

第3期 内 容：家庭科ゆりかごの時代  
展示期間：平成19年7月1日～7月末日

第4期 内 容：戦前の家事・裁縫科（家庭科）  
展示期間：平成19年8月1日～9月末日

★ 展示資料閲覧タイム  
家庭科教育関係の小中高生がこの時期に図書館で展示を行います。  
いずれもお昼の12時～12時30分です。お気配にお立ち寄りください。

第一日：平成19年4月5日（水）  
第二日：5月23日（水）  
第三日：7月11日（水）  
第四日：9月5日（水）

問い合わせ先 宮城教育大学附属図書館 目録情報係 022-214-3348

平成20年度宮城教育大学附属図書館 常設展示

## 中学校英語教科書戦後の歩み

第二次世界大戦後の中学校英語教科書を語る上で、Jack and Bettyを外すことはできません。昭和23年の初版以来、圧倒的な支持を受け、使用されつづけてきました。Jack and Bettyを閉じてみることで、戦後の英語教育がわが国におもたされたものが見えてきます。Jack and Betty も終わりを迎えるときがやってくる。代わって使われ始めたのは New Horizon English Course でした。昭和41年のことでした。そこで変わったものがあるとすれば何なのかを考えることから、中学校英語、更には小学校英語のいまへとつながるものが見えてきます。二期に分けて展示することによって、その流れを考えていきたいと思っております。

展示会場：宮城教育大学附属図書館2階 第二展示場  
展示期間：平成20年3月3日（月）～4月30日（水）

第1期 内 容：Jack and Bettyに始まる  
展示期間：平成20年5月1日（水）～6月30日（月）

第2期 内 容：Jack and Bettyの終わり

<展示資料閲覧タイム>  
英語教育関係の小中高生が資料の閲覧を行います。  
場所：附属図書館多目的図書室  
第1日：4月16日（水）12:30～12:50  
第2日：5月28日（水）12:30～12:50

問い合わせ先 宮城教育大学附属図書館 目録情報係 022-214-3348

# 第12回 学生の読書室 ～私が選ぶこの一冊～



## 『山椒魚』

(井伏鱒二著、新潮社、1948年)

初等体育・健康コース3年：黒田 栄彦

この本は、主人公である山椒魚が自分の成長に気付かず、岩屋に閉じ込められていくうちに意地悪になり、ある日やってきた蛙を閉じこめる。長い口論の果てに、2匹が和解しようとした時にはすでに遅く、蛙は衰弱死していく。作者は、この小説から、生き物の愚かしさと悲しみをユーモラスに、しかもほろ苦く書いている。

この本の作者、井伏は太宰治等の師であったが、周囲に認められるまでに、長い時間を要することになった遅咲きの作家であった。そこから周囲に取り残されるという経験を人一倍感じていた。そのような背景から、自分を山椒魚と重ね合わせ、生き物のもつ感情をリアルに表現している作品であるといえよう。

このように本には、その作者自身の経験、生き様、人生観など、書いてある物語の裏に様々なことが作者なりの表現で隠されている。それを読み解いていく面白さをこの本は改めて実感させてくれる。



## 『メジャー最終兵器』

(松井稼頭央著、双葉社、2003年)

体育・健康コース3年：久保 勇樹

この本には、当時プロ野球チーム西武ライオンズに所属していた松井稼頭央選手が、「世界一のショートになる」という夢を追い、メジャーへ挑戦する決断の気持ちが書かれている。メジャーへ挑戦した日本人内野手としては松井稼頭央選手が初であり、ポジションもショートという、いわば内野の華である。当時日本人No.1ショートがアメリカでどれだけ通じるかに日本中から注目を浴びていた。

松井選手を簡単に紹介すると、1998年には、西武ライオンズを2年連続リーグ優勝に導き、シーズンMVPに選出される。その後も数々の記録を残しており、2002年、打率.332、36本塁打、33盗塁で史上8人目（両打ち選手としては史上初）の「トリプルスリー」を記録。ゴールデングラブ賞を4度受賞、7年連続ベストナインなどの記録を残しており、文字通り走攻守3拍子そろった選手である。

松井選手との奥さんとの対談も書かれていて、男女問わずお勧めの一冊である。

## 『新版 国際機関って どんどこころ』

(原 康 著、  
岩波ジュニア新書、2007年)

社会科教育専攻3年：  
高橋 渉



「ものの見方」の座標。

歴史感覚をたえずもつ縦軸と、地球をひろく見渡す水平思考の横軸、その中心に自分を置く。

歴史感覚を磨くことは、国際社会に生きる1人の人間として必須条件である。この歴史感覚により自分のあるべき姿を考え、同時に他の国の様子や、海外の事情、国際関係をより身近に引き寄せて理解することができる。

また、グローバル化が進む国際社会は様々な水平思考のエネルギーによって動いている。そのような世界のできごとを横断的に知り、動きを察する能力も必要である。

これからの国際社会に生きていくにあたってはこのような立場に立った「ものの見方」が大切である。この本は国際機関についてわかりやすく述べられている本だが、一人の人間としてそのような事を考えさせられるものだった。

## 『持続可能な福祉社会－「もうひとつの日本」の構想』

(広井良典、ちくま新書、2006年)

社会科教育専攻3年：齋藤浩平

現在、日本が抱える大きな矛盾がある。見知らぬ者同士がちよっとしたことで声をかけあったりコミュニケーションをとることがほとんどみられないこと、互いに道や順番などを「ゆずり合う」といったことが稀であること、同じマンション等の住人の間ですらあいさつをしないこと・・・といったことである。このようなことを経験したことがある人は少なくないはずだ。しかし、それが当たり前の今の日本。本当にこのままでいいのだろうか。そんな疑問に回答を投げかけてくれる一冊である。

私は現在、人とのかかわり、コミュニティ、友愛といったことをテーマに卒論を書こうと考えている。出発点は、「人間関係の希薄さ」を感じたことからだった。これからの日本においては、「歩くスピードを少しゆっくりする」ような生き方ないし社会へと転換し、閉鎖的な集団に「ひきこもる」のではなく、地域や社会に「開かれた」関係をつくることが筆者が最も言いたいことの一つである。

私達が当たり前と感じている人とのかかわり方が、実は大きな問題を抱えているのかもしれない。人との付き合い方を見直し、関係性を進化させるためのきっかけとしてみてはいかがだろうか。

## 『ヨーロッパとイスラーム～共生は可能か～』

(内藤正典、岩波新書、2004)

社会科教育専攻3年：ダムチャー・チメゲー



みなさんは、西洋文明は昔からずっと、世界で最も優れている文明だと思っていませんか。私はそう思っていました。でもこの本を読んで自分の考えは変わりました。この本を読んで、初めて、現代のヨーロッパはイスラーム文明との文化交流、そして対立なしでは成立しなかった、ということを知られました。そして、今、ヨーロッパ先進諸国に定住するムスリム人口は、2世、3世を含め1,500万人以上といわれています。受け入れ国社会に同化するどころか、摩擦をおこしながら、自分たちの集団を拡大させていくヨーロッパのムスリムたち。幸福な暮らしを夢見て母国を後にした彼らは、何百年後には、イスラーム・ヨーロッパ大陸を形成しているのでしょうか。私たちは、長い歴史のわずかの期間に生きています。そして、人の移動は、歴史を作ります。少子化、高齢化に直面し、移民受け入れの議論もある昨今、母国の将来に不安を抱く人たちが読むべき一冊です。

## 【原稿を募集します】

ここは学生のみなさんにお薦めの本を紹介してもらうコーナーです。みなさんからの投稿をお待ちしています。以下の必要事項を記入の上、いずれかの提出方法をお選びください。

## ■必要事項

- ・専攻・学年・お名前・連絡先
- ・紹介したい本のタイトルとその著者名・出版社
- ・紹介文（400字程度）

## ■提出方法

- ・メールの場合は [toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp](mailto:toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp) まで
- ・USB等の場合は 図書館カウンターへ

## ■注意事項

- ・こもれび次号は7月発行です。
- ・原稿はこもれび編集委員会で選定の上、掲載します。
- ・採用された原稿は図書館ホームページにも掲載されます。
- ・学生の読書室で紹介された本は、図書館の「学生の読書室」コーナーに並べられます。

## 表紙の解説

## 長寿の秘訣は“隠れ蓑” —テングチョウ—

環境教育実践研究センター・溝田浩二

頭の先端が突き出した独特の風貌をもつテングチョウの姿を見かけるようになると、もう春はすぐそこ。まだ肌寒い3月末から活動を始め、林床で柔らかな陽光を浴びて日向ぼっこをするのが大好きなチョウです。褐色の地に柿色の紋様という色彩パターンは華やかというよりは日本的な渋さを感じさせ、早春の里山の風景に見事にマッチしています。体全体が枯葉そっくりの隠蔽色で、忍者のようにピタリと地面に着地されると、瞬く間に姿を見失ってしまうことも……。まさに“天狗の隠れ蓑”です。

テングチョウの発生は年1回。初夏に羽化した成虫はそのまま夏秋冬と3つの季節を駆け抜け、恋の季節である春を迎えます。春の女神ヒメギフチョウの寿命がわずか1～2週間程であることを考えると、恐ろしく長命なチョウです。目立たぬように枯葉の中に潜み、耐え忍びながら細く長く生きる奥ゆかしい佇まいのチョウですが、厳しい冬の風雪を耐えぬいた春のテングチョウは、生命力に溢れています。

# 平成22年度 図書館開館カレンダー

**4月**

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

**10月**

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

**5月**

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

**11月**

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

**6月**

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

**12月**

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

**7月**

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

**1月**

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

**8月**

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

**2月**

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

\* 8月21日から9月5日までの土・日曜日は教育実習期間特別開館を行います。  
\* 8月中旬の大学一斉休業時には閉館します。日程が決まり次第お知らせします。

**9月**

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

**3月**

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館 9:00~22:00	月曜日~金曜日 9:00~22:00
開館 10:00~17:00	土曜日・日曜日 10:00~17:00
開館 9:00~17:00	月曜日~金曜日 9:00~17:00
休館日	国民の祝日・本学創立記念日(10/18)・年末年始・本学学位記授与式当日

注1：平成23年1月15日~16日は大学入試センター試験のため休館します。

注2：その他の臨時休館または開館時間を変更する場合は、その都度掲示等によりお知らせします。

## 編集後記

春はたくさんの変化を経験する季節です。新たな出会いへの期待感よりも、環境の変化による不安感のほうが大きいかもしれません。少しずつ慣れていいのですから、無理は禁物。疲れたら気分転換と休養を。

編集委員 附属図書館運営委員 井柳 美紀 (社会科教育講座) 黒川 哲也 (保健体育教育講座)